

開講年次・時期	1年後期	授業回数		時間数	90時間	必修・選択	選択	授業形態	実習	単位数	2単位
---------	------	------	--	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NK320	科目名	保育実習 I A(保育所)	担当者名	千葉
授業の概要	保育所における保育士・職員として求められる資質・知識・技術などについて学ぶ。さらに、乳幼児の発達について実践を通して理解を深め、保育の理論と実践を有機的に学び、子どもたちとの関わり・保育者としての在り方などについて学ぶ。				
科目の到達目標	保育所の生活に参加し、乳幼児への理解を深めるとともに、保育所の機能と保育士の職務(下記の実習の内容に示した各項目)について理解する。				
DPの観点	⑤社会性 ⑥専門知識・技能 ⑧実践力 ⑨主体性				
授業時間外学修(予習・復習)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児の発達について復習する</li> <li>・実践に必要な教材研究を行う</li> <li>・絵本の読み聞かせ、手遊び、ピアノ等の事前準備をする(毎日1時間程度)</li> </ul>				
フィードバックの方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習最終日に反省会を行う ・日誌の記録に対するコメント</li> <li>・自己評価票の記入、実習日誌を基にした個別の振り返り ・グループワークなどでの共同の振り返り</li> <li>・個別面談により評価のフィードバックを行う</li> </ul>				
単位認定の要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習は原則として90時間行う</li> <li>・実習日誌等の記述と提出が完了していること</li> <li>・総合評価が合格基準に達していること これらの定められた基準を満たすことが単位認定の要件である。</li> </ul>				
評価の方法・割合(%)	事前・事後の準備(20%)、実習先からの評価(30%)、実習に臨む態度(20%)、実習日誌の評価(30%)				
履修上の注意事項	実習規定を守ることが実習を行う条件となる。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			実習施設および一日の流れについて理解する	⑤⑥⑧⑨	実習日誌(課題・気づき・省察)
2			子どもの観察や関わりを通して乳幼児の発達を理解する	⑤⑥⑧⑨	実習日誌(課題・気づき・省察)
3			保育の計画・指導計画について理解する	⑤⑥⑧⑨	実習日誌(課題・気づき・省察)
4			生活や遊びなどの一部分を担当し、保育技術を習得する	⑤⑥⑧⑨	実習日誌(課題・気づき・省察)
5			職員間の役割分担とチームワークについて理解する(グループワーク)	⑤⑥⑧⑨	実習日誌(課題・気づき・省察)
6			記録や保護者とのコミュニケーション等を通して家庭・地域社会を理解する	⑤⑥⑧⑨	実習日誌(課題・気づき・省察)
7			子どもの最善の利益を具体化する方法について学ぶ	⑤⑥⑧⑨	実習日誌(課題・気づき・省察)
8			保育士としての倫理を具体的に学ぶ	⑤⑥⑧⑨	実習日誌(課題・気づき・省察)
9			安全および疾病予防への配慮について理解する	⑤⑥⑧⑨	実習日誌(課題・気づき・省察)
10			実習全体の総括と今後の学習課題を認識する	⑤⑥⑧⑨	実習日誌(課題・気づき・省察) ディスカッション
11					
12					
13					
14					
15					
期末試験					

使用テキスト	実習指導ガイドブック、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領
参考文献 参考URL	全国保育士会倫理綱領
備考	・事前に実習先でオリエンテーションを受ける ・実習施設は認可保育所とする

10の観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--